

「ボール運動」

【ねらい】

- ・ボール運動を楽しもう。
- ・投げ方や蹴り方を知ろう。
- ・ねらって投げたり、蹴ったりしよう。
- ・相手の取りやすいボールを投げたり、蹴ったりしよう。

【学習の流れ】

1. めあて・ポイントを知る。

2. ボールに慣れる。

- ・ボール渡しリレー ・転がしドッジボール ・爆弾ゲーム など

3. 投げたり、蹴ったりする運動に取り組む。

- 【投げる運動】・いろいろキャッチボール ・協力的当てゲーム ・あてっこ鬼ごっこ
・取られないように投げよう

- 【蹴る運動】・ウルトラキック ・くずしゲーム ・宝を奪え！ など

※上記の中から、児童の実態に応じて教員が選択して行います。また、実態に応じて内容を変更して行うこともあります。

4. 振り返りをする。

- ・意識したポイントについて発表する。
- ・クラスの活動の中で活かしたいことを発表する。

担任の先生・保護者の皆様へ

今週の運動の時間は、「ボール運動」を行いました。ボール運動は、目と体の連動が必要不可欠です。眼球運動が発達していない子供のうちは、ボールを上手く目で追うことができずに失敗を繰り返し、苦手になってしまうケースがあります。そのため、指導の際には児童の実態に応じて、ボールをゆっくり目で追うボール慣れの練習も取り入れて行いました。

また、バスケットボールやドッジボールなどの球技やゲームになると、「相手が取りやすいボールでパスをする」という力が必要です。子供は、「速く、力強いボールを投げたい」という思いから、相手のことを考えずに自分の好きなように投げてしまうことがあります。それではうまくいきません。パスをするという力は相手を思いやる力でもあります。技能だけでなく、小集団の中で相手を思いやる気持ちも合わせて指導しました。